

「元氣印企業」15年度2割減

1位は免税店のJTC

順位	企業名(所在地)	売上高(億円)
1	JTC(福岡市)	658
2	菅原(北九州市)	608
3	国分九州(福岡市)	492
4	大英産業(北九州市)	225
5	リウボウストア(那覇市)	216
6	九電ビジネスソリューションズ(福岡市)	200
7	九州河西(大分県宇佐市)	187
8	日立金属若松(北九州市)	177
9	久原本家(福岡県久山町)	158
10	西日本技術開発(福岡市)	143

東京商工リサーチ福岡支社は、2015年度決算で大きく業績を伸ばした九州・沖縄の「元氣印企業」を発表した。業績の基準をクリアしたのは528社で、14年度比で129社(19.6%)減ったものの、今の基準で集計した10年度以降では2番目に多かった。元氣印企業は、売上高が3億円以上で2年連続10%以上の増収、純利益が300万円以上で3年連続黒字かつ2年連続増益、を基準に同社が集計している。15年度は、「爆買い」に象徴される訪日外国人の需要を取り込み、国内各地に免税店を展開するJTC(福岡市)が売上高、増収額、増益額いずれもトップになった。4年連続売上高1位だったコスモス薬品(同)は基準を満たさな

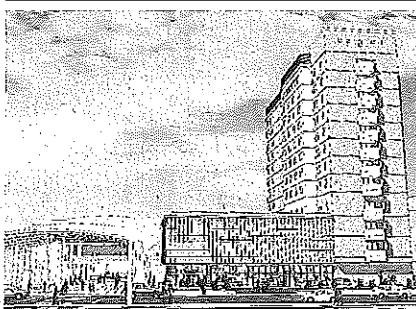
った。業種別で、元氣印企業が増えたのは運輸業の電気連工事の減少が影響し、最も減少したのは建設業で、公共工事や太陽光発電、民間の再開発が減少した。(石田剛)

都城大丸跡地の再開発

13階建てホテル建設

地場企業体

2011年に民事再生法適用を申請し閉店した宮崎県都城市の百貨店「都城大丸」跡地の再開発で、都城商工会議所の会員企業でつくる「株式会社センター・シティ」が、13階建てのビルIIイメーションIIを建設する計画を明らかにした。スーパーやホテルが入る。13階は機械室。総事業費は約27億



円。来年1月着工の予定。残る約9千平方メートルは市が図書館や健康センターを移転させ屋根付きの多目的広場などを整備する。18年春のオープンを見込む。同社は15年9月、市の事業者公募に応募し、市の再開発優先交渉権者に選ばれた。フイードコ今日、本格人気店集め改装工事が続(福岡市)に12日、ドコート「ザイムス」II写真ドオープンする。流れるおしゃべり地元人気店のオープンなどを提

空港運営 地元主体で

倉富 純男社長

西日本鉄道

「これまで着実に運営が行われてきたので、付加価値が加わる余地は小さいと思うが、地場連合に参加する各社で知恵やノウハウを出し合い、国内線と国際線の連携強化などを考えていきたい。社内でも1月から専従部署の要員を4人から14人に増やし、力を入れていく」

「地元からも複数の企業グループが参加する方が入札で



「これが本来の姿だと思う」「地域が一つになって支えるのが鉄道のホームドア設置

が課題になっている。「天神大牟田線は、ドアの位置が異なる車両が複数走っており、技術的課題の解決に時間がかかる。駅員が乗客にしっかり声掛けする必要があるし、乗客同士で声を掛け合っつてもらう優しさも大事だ」九州大でも研究中の自動運転バスを導入する考えは。「安全が大前提だが、業務の効率化や将来の運転士不足を考えれば、導入可能な技術は入れないといけない。今後、独自に研究することもあり得ると思う。雇用への影響を懸念する声もあるが、念する声もあるが、の質が高まれば新つながる。最先端競争するとは思わ海外でのホテル業はどう進めるか。「ベトナムで取り戻る住宅建設で、結晶た。今年はいンドネ都市開発プロジェクト「安全が大前提だが、業務19社の広さがあるのだけでなく小さいグセンターを出店もあると思う」(川崎弘、撮影・宮下



「今年には福岡空港の民間委託事業者の公募が本格化する。どう取り組むか。」

「福岡の地場企業が主導する形で手を挙げる準備を進めている。地域の企業が九州の発展に向けて空港運営に手を挙げる意義は大きい。運営の方向性は定まっていらないが、自分たちで決めていきたい」

「福岡空港の経営でこれから伸ばせる部分とは。」